

M A 312.2  
60

特許庁

実用新案出願公告

## 実用新案公報

昭31-19213

公告 昭 31.12.8. 出願 昭 29.12.11 実願 昭 29-44147

考案者 山本 進一

広島市舟入川町715ブロツク

出願人 草薙工業株式会社

広島県安芸郡府中町字新地6047

代理人 弁理士 原田 秀

(全2頁)

## Vベルト伝動装置に於けるVベルト冷却装置

## 図面の略解

第1図は本案の縦断面図、第2図は一部を拡大した正図である。

## 実用新案の性質、作用及効果の要領

本案は駆動軸1上のV調車2と、伝動軸3上のV調車4とを、Vベルト5を以て伝動するようにしたVベルト伝動装置に於て、之等V調車及Vベルトを吸気口6及排気口7を設けた包囲8を以て包囲し、且上記V調車2に適當の翼片9を設けて成るものである。

従来特に車両用Vベルト伝動装置に於ては、V調車及Vベルトに塵埃等が甚しく附着するだけでなく、之を巻き込んで故障を惹起或は危険を作り得るものであるが、本案のように之等V調車及Vベルトを包囲8を以て包囲するとときは、こ

の欠点を完全に省略することができるものであつて、この場合包囲内に発生する熱は、V調車の包囲に伴い翼片9を以て排気口7より包囲外に排出し、吸気口6より冷気を包囲内に投入するため、Vベルトは絶えず冷却されて発熱によるVベルトの耐久性的の低下を免さしめるようなることのないものである。

## 並び請求の範囲

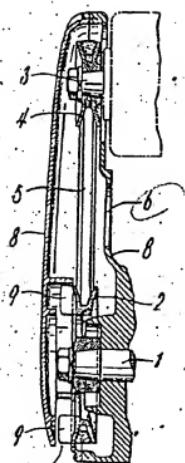
図面に示すように駆動軸1上のV調車2と、伝動軸3上のV調車4とを、Vベルト5を以て伝動するようにしたVベルト伝動装置に於て、之等V調車及Vベルトを吸気口6及排気口7を設けた包囲8を以て包囲し、且上記V調車2に適當の翼片9を設けて成るVベルト冷却装置の構成。

BEST AVAILABLE COPY

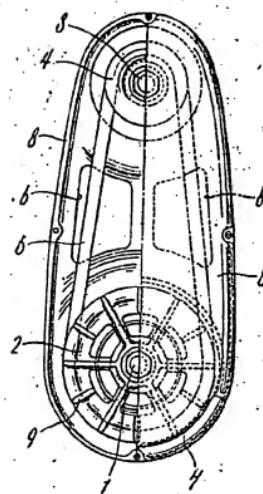
(2)

实用新案出願公合  
昭31-18213

第1図



第2図



BEST AVAILABLE COPY